



岡村病院
院内報

歩 (あゆみ)

第 19 号

発行 岡村病院
編集 歩 (あゆみ)
編集委員会
平成 8 年 7 月 10 日

岡村病院 基本理念

私たちは、患者さん本位を第一に考え
高度な専門医療技術をもって
地域社会に貢献することを目指します。



あじさい街道 (春野町) — 西岡 絹 恵さん 撮影 —

今月のことば

朝の基本を忘れずに

1. 仕事にかかる前に、その日の仕事の手順、段取りを立てる。
始業までにそれができていると、滑り出しもよく、仕事もはかどります。
2. 報告、連絡はぬかりなく。
報告や連絡をぬかっていた為に、つまらないミスや無駄をしている事が多くあります。連絡のしすぎはないと言います。ダブってもよいが、ぬからぬように。
3. 明るい表情と、ハリのある挨拶。
朝の明るい表情とハリのある挨拶は、職場のふんいきを明るくし、仕事の能率を高めます。
スポーツ選手を見ても、試合に臨む前に、心身を整え、気力を充実させて試合に臨みます。
私共も、朝の基本を忘れずに、意欲をもって仕事にかかるように心掛けましょう。
意欲ある一日は、充実した一日のもとなります。

医療効率と実力主義



院長・心臓血管外科医長 岡村 高雄

高齢化社会を控えて、年々増加する医療、福祉の費用が問題となっております。平成6年度の国民医療費は25兆7000億円になっており、今後、年1兆円以上のペースで増大する見込みです。この為、世界的に見ても優れた医療制度である国民皆保険制度が、財政難の為に現在すでに破綻している現状であります。

今後、老人世代が増大し、若年世代が減少する中で医療、福祉の増加に対応する方法は、(1)介護保険制度の創設、(2)自己負担の増大、(3)医療の効率化といった方法しかない様に思われます。介護保険制度は、残念ながら今国会に法案提出も出来ずにいる現状です。介護保険の内容に若干の問題はあるものの、早期にこの保険制度を創設しないと、破綻している財政上から自己負担の増大に益々つながって来るものと思われまます。自己負担の増大とは既に入院時の食事費用が一部患者さんの負担に変わった様に、現在の保険でまかなっていた部分を患者さんが支払うしくみの増加であります。病院にとりましては患者さんの自己負担が増大したからと言って、病院の収入が増すわけではなく、以前は保険により支払われたものが、直接患者さんからいただく事になるだけであります。自己負担の増大は保険を支払っていて、さらに自己負担という二重の負担となり、国民にとって、医療費増大に対する良い対応策とは考えられません。

現在、私共で可能な事は医療の効率化であります。一部に、病院が無駄な高額の医療器具を設置し、病院を新しくして医療費の増大を招いているとか、多大な利益を上げているとかいった誤解を招く報道がされていますが、現状では日本の病院の30~40%が赤字経営であります。私共も患者さんの為に必要な検査、治療の器具を導入し、患者さんの治療環境改善の為に病院を新しくしているのであって、公立病院の様な財政的援助のない病院では決して楽な経営をし

ている訳ではない現状です。例えば、現在、虫垂炎(盲腸)の手術をすれば手術代として6万8000円が保険より病院に支払われるしくみになっています。手術には医師2人、看護婦2~3人が最低必要ですし、手術の為に機械の消毒、手術後の清掃、手術器具代、クリーンな手術室の維持、手術前後を含めて約2時間の私共の制約等を全て含めた値段であります。この手術代が高いか安いかは議論のある所と思いますが、この手術代に比し、例えばペースメーカー1ケの値段は約150万円でありまます。欧米では50万円前後の値段が日本では3倍近くし、この収入は病院ではなくメーカーに行くわけでありまます。また現在の一般病院での医療では手術をして順調に早く退院すれば病院の収入は少なくなり、合併症により医療費がかかればかかる程、収入が増大するしくみになっております。私共はここにも医療費増大の原因と、現在の医療の効率の悪さがあると思っております。私共は患者さんにとって無駄のない治療を今後目指す事が必要であり、この為には3人で行っていた事を2人で出来るように職員個人個人が実力を身につけ、自己の能力の向上に努める事でありまます。この実力を身につける事が、今後私共に必要な医療効率の向上の為に1つの方法と考えられます。

//// ミシシッピ川からの手紙 ////

(6) ケーディス氏の思い出

第2次世界大戦後の連合軍司令部(GHQ)の民政局次長として日本国憲法草案の中心的役割を果たしたチャールズ・ケーディス氏が平成8年6月18日死去されたとのニュースを見て驚くと同時に又悲しく思っています。

1986年の秋に私はニューヨークからアメリカの鉄道会社であるAmtrak（アームトラック）に乗ってハドソン川沿いにAlbany（オールバニ）に向かっておりました。旅の目的は知人の紹介でケーディス氏に会いに行く為です。私はそれまで面識がなかったのでどんな人かと心配しておりましたが、Albanyに到着するとケーディス夫妻と愛犬が初対面でないような人なつっこい笑顔で出迎えてくれていました。当時でも数少なくなっていたリンカーンコンチネンタルという超大型車が彼の自慢の1つで、これに乗せてもらい紅葉のマサチューセッツ州を2時間程ドライブして彼の家に着きました。当時80才でしたが大変お元気そうで、冬の厳しいマサチューセッツ州ヒースでは暖炉の為の薪を多く用意しなくてはならず、木を切って薪をつくるのがこの時期の仕事の1つだが、年と共に大変になっ

てきたとおっしゃっていました。彼の家は山の中の山荘風の自宅でしたが日本の事を懐かしく思っか、質素なたたずまいの中にも、日本での写真や美術品がおいてありました。彼の人生の中でやはりマッカーサー元帥との出会いは大変に大切にされている事であり、懐かしい写真を見せてくれて、当時でも尊敬の念を払っていることがよくわかりました。2日間の短い滞在中にボストン郊外の名門大学を色々案内して下さり、その暖かい人柄と日本に対する思いを十分に感じる事が出来たことを大変嬉しく思っていました。戦後の混乱の中で彼のはたした数々の改革での役割と、彼の日本国憲法の戦争放棄の条文の起草により、今日の日本がある事を考えると、大変に残念でなりません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

（岡村高雄）

おくすり

い・ろ・は (4)

薬局長 田村 麻美子



なんだかスッキリしない、でも副作用が心配だからあまりお薬はのみたくない。漢方薬はどうかしらと思っている方も多いと思われます。

漢方薬について少しお話ししましょう。

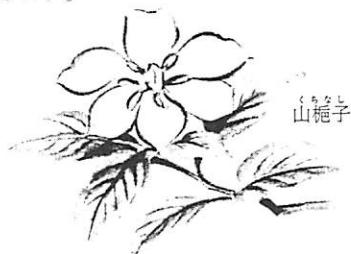
漢方薬の原料となる薬を生薬といい、生薬には植物だけでなく、動物、鉱物などもあります。今使われる漢方薬の多くは、いくつかの生薬を混合したものです。

西洋医学では風邪をひいた時には解熱剤、咳止めなど、その時の症状をみてお薬が処方されます。漢方ではその人の状態を正常の位置にもっていくための漢方薬が処方されます。全身の状態がよくなるとその人の複数の病気も良くなるというわけです。従って全く違った病名に同じ漢方薬が使われることもありますし、同じ病名でも効く人、効かない人があります。

漢方薬はいくつかの生薬を、土鍋で1時間ぐらい煎じて飲みますが、現在は有効成分を集めて顆粒や錠剤にしたものが主に用いられています。大多数の漢方薬は1日2～3回に分け空腹

時に微温湯で飲みます。吐き気や吐血を抑えるものは冷たい水で、また胃腸の弱い人は食後(30分～1時間)に飲んだ方がよいでしょう。自分に合っていると思う漢方薬はなんとなく体があつたり、よい気持ちになるようです。

どんな薬でも副作用には注意しましょう。お薬を飲んで症状が悪化したり、別な症状がでてきたら、医師・薬剤師に報告して下さい。最近では小柴胡湯の副作用として「間質性肺炎」のことが報道されました。間質性肺炎の症状は発熱・空咳から初まり、カゼの初期症状に似ています。病気同様、副作用にも早期発見、早期治療が大切です。



足の痛みとの戦い

4F 一ノ尾 秀治

前から足の痛みのため入院したりしていましたが治らず、気がかりと憂鬱の素でありましたが、今年、ゴールデンウィークに実母の墓参りをすませた後、知り合いの先生の紹介で、岡村病院をたずねました。診察の結果、大腿動脈狭窄との事でしたが、大事にならずにすむという事で早速入院、治療を受けました。

今は痛みもなくなり、本当に助かりました。今年の冬は大変な寒さでしたので、足の痛みがひどく、つらかった事を思い出し、もっと早く来ておればよかったと思いました。

「入院」という言葉を聞くだけで、暗いイメージがありますが、岡村病院は院内のふんい気がとても明るく、快適そのものです。テレビもはじめからありますし、大部屋にいても個室にいるような気持ちになりました。看護婦さんたちの優しく明るい事にはげまされます。又、先生もていねいで分かりやすく説明してくれて、とても信頼でき、安心して診療を受ける事ができました。また私のような病気の人がいましたら、当病院を紹介したいと思います。(6月5日記)

私の入院

4F 泉 淑子

病院は暗い、待たされる。検査、検査だと、自分勝手に思い込み、独断と偏見で、出来得る限り自己管理をと、それ薬草だ、漢方だと日々明け暮れておりました。

ところが、あと10日で楽しみにしていた佐渡旅行という時になって、まるで酸欠の金魚の如くアップ・アップ。「もはや限界」と覚悟し、タクシーで4分、岡村病院に到着した。

私にとって嬉しかったのは、スピーディな処置、納得のゆくドクターの説明、ナースもきびきびと優しく、私は気に入った。

さて入院してみると、明るく清潔で、他人の作ったお料理も、これ又私好みで充分美味であ

る。深夜、あちらこちらの部屋よりブザーが鳴る。ナースがさっと飛んで来る様子。ブザーを押さない私を気使って、そっと覗きにきて下さる。本当に大変な看護のお仕事であるが、喜々として立働いているようだ。まさに白衣の天使達である。

酸欠の金魚だった私、日一日と快方に向っている。おかしな話だが「来て良かった此の病院に」と泌々と思う。

回復したら「大好きな旅行に出掛けよう」と各室に響いて来る心地良い音色にうっとりしながら、安らいだ時を過ごし、心楽しく入院している私。

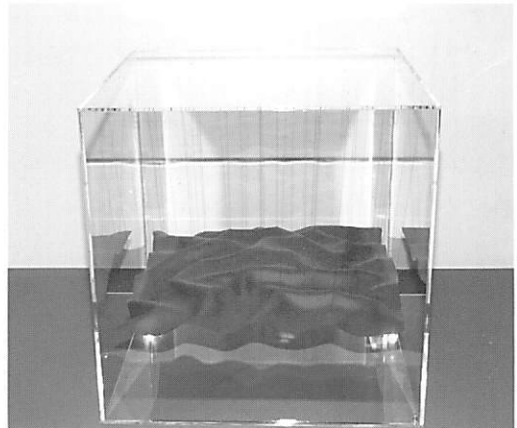
何はともあれ、ドクターやナース、裏方の方々に感謝しつつ、皆様方の御健康を心よりお祈り致します。(6月15日記)

庄司達氏作

「水色の布による空間ミニ96' - 1」

展示

● 本院2Fのエレベーター横に庄司達氏の作品「水色の布による空間ミニ96' - 1」が設置されました。45cm×45cm×45cmのプラスチックボックスに入った美しい布の作品です。昨年12月5日より本年1月21日まで新潟市美術館にて庄司達氏の大展覧会が開催されましたが、この際に出品された作品と同じものであります。待合室空間の「浮かぶ布」とまた違った庄司達氏の世界を感じとって下さい。



俳句ポスト

水田 雅吉子

- ① 爽やかに人の話の輪に入りぬ 青木 静枝
簡潔にして、まことに爽やかな句です。一人の人物の参入による、一座のどよめき、一閃の風を感じます。さすがに、季語を見事に使いこなしていらっしゃいます。
- ② 竹の子の藪見え汽車の止まりけり 青木 静枝
(竹の子の藪)は少々観念的で、読者には、竹藪、ほどの意味しか無いようです。写生なら目に徹し、叙情とするなら(旅も終わりたる)など、再考のほどを……。
- ③ 一期一会牡丹の落つる音静か 田中 澄子
諦観の美というのでしょうか、静かさの中にもりんと気品漂う作品です。
- ④ 思ひ出の寮歌の空は五月晴れ 田中 澄子
(寮歌の空や)として、思い出を、現実の相に重ねるべきかと思えます。
- ⑤ 甕に挿す花見でありぬ五人部屋 秋山 武子
病床吟でしょう。武子さんの作品は、ほのぼのとした、木漏れ日のような優しさが特徴的です。人の温もりに満ちた小部屋での、ささやかなお花見、羨ましい情景です。
- ⑥ あじさいの葉に雨蛙何を待つ 土居 菊次
彩りの美しい作品です。季が重なりますが、

あまり気にならないようです。(何か待ちあじさいの葉の雨蛙)として、より叙情的にしたい一句です。

⑦ 思うこと忘れんげの田道ゆく 奥山 貴司
非常に感覚的な句で、筆者の好むところですが、(思うこと忘れ)はちょっと未消化な言葉です。(何かしら忘れ)として、もっととほけた味を出したいと思います。

⑧ ばらの門二階の窓もばらの花 奥山 貴司
なんだか言い足りない気がしていませんか。(咲き継ぐばら門を出窓を埋めてなお)うんと大胆に、と心がけると、俳句はとたんに楽しくなります。

⑨ 事故をしてバイクがこわれああ悲し 明智 美卓
ふっと吹き出しそうな楽しい句です。もちろん色々問題は在りますが……俳句は心の眩きであると言われます。美卓さんのは溜め息かな。

⑩ 病い癒えグリーン館去りがたし 村上ミズエ
ミズエさんも初めての句作とか。リズムも美しく、情感もたっぷり、立派な俳句です。ただ、俳句には、季語を入れて作るという約束ごとがあります。(新緑の棟去りがたし)とし、五月頃の季語を入れてみました。

歳時記、季寄せなどの季語集を、病院の受付にも一冊置かせて戴こうかと思っています。

・ 静かなる自転よ母が薔薇を剪る 雅吉子

(投句歓迎、投句箱は病院受付にあります。)

ひろば



外来業務

— 患者さん立場になって

外来・看護婦 中越 宜子

当院に就職して、約3か月がたちました。それまでは、救急病院で“診てあげている、してあげている”と言っていい程、思いかえせば、事務的な看護をしてきた様に思います。

3月に就職するまで約3年間程、看護婦という職業から離れていたものの、うち2年ばかり自分自身が、初めて“患者”という立場になって、入退院、通院治療と、病院からは手が切れ

なかった私ですが、立場が逆転すると、なかなかどうして、看護婦の態度や、返答の仕方、他いろいろ見ている、ああと考えさせられる面が随分ありました。弱い立場と言いましょか、“すみませんけど”と必ず前置きをしながら、看護婦さんに頭を下げてお願いして、顔をうかがう……。その時、ふと感じた事は“人のふり見て我がふり直せ”でした。

今の外来業務でも、まだまだ改める面が多いのですが、まずは、笑顔で挨拶から、境目をつけないで、何でも訴えてもらえる様に、話しかけやすい看護婦として、また“外来は病院の顔である”“悪いイメージ=病院のダメージ”と言う事を、十分に考慮しながら、プラス・アルファのサービス精神で接する様、心掛けなければならないと思っています。

(ひろば・つづき)



自然



事務 鎌倉 圭子

突然ですが、キャンプはいいものです。ゴールデンウィークも鳥取県の蒜山に行きキャンプの良さを肌で実感してきました。

緑の草原が一面に広がっている横には、ピンクの桜がひらひらと舞い散り、遠くの山には白い雪がまだ残っていて、日本の四季が一度に来てしまったような場所でした。

夕食はスパゲティーを作り、ちょっとおしゃれにワインを飲みいい気分でした。が、周りの山に雪がある所です。寒い一言でした。テントの中を暖め寝袋に入って眠りました。

朝は自然に目が覚め、自然にお腹もすきました。自然の流れに身をまかせるとはこの事です。時計を気にする事なく、ゆったりと時間が流れていきました。

自然を大切にすることを忘れかけていた私にとって、キャンプをする度に自然の恵みが人間・生物にとってどんなに大切なものかを思い出させてくれます。開拓され未来を創る事もすごい事ですが、いつまでも緑の多い昔のままの日本を残す事も大切な事だと思いました。

ニューフェイスです。ヨ・ロ・シ・ク!!



寺尾 利佳さん
看護婦

高知中央高校衛生看護専攻科卒
高知市南万々



松岡 万里さん
事務・経理係

土佐簿記学校経理科卒
高知市桜馬場



藤野 優子さん
看護婦

愛知県医師会准看護学校卒
高知市福井町



笹岡 恵美子さん
理学療法助手・パート
四国学院短大卒
高知市横内

お 礼

□ 阪神・淡路大震災 □ 復興支援全国ポスター展

本院にて平成8年5月1日より6月1日までに開催されましたポスター展は皆様方の御支援により無事終了する事ができました。ポスター展には多数の方々が見に来られ又、高知新聞社、NHK高知支局、テレビ高知、高知ケーブルテレビ等より取材に来ていただき、大いに盛り上がりました。皆様方のポスター御購入により、HYOGO AIDを通じて収益金が兵庫県に贈られることになっております。厚く御礼を申し上げます。

病院建築セミナーで

岡村院長講演

去る5月25日、東京の全国町村議員会館で開催された、保健・医療・福祉サービス研究会主催の「病院建築セミナー」(北海道から沖縄まで、病院関係出席者74名)に当病院岡村高雄院長が講師として招かれ、「岡村病院のアメニティを追求した建築の実際」というタイトルで講演。今後病院を新しくする際に役に立つ話として出席の方々から感謝されました。

第46回 日本病院学会(看護部門)

(6月6日、7日、福井市で開催)に当病院より次の4名の方が出席されました。

渡辺ゆかりさん 小川 郁子さん
田中由紀子さん 石崎 百合さん

合格 おめでとうございます

溝江 和子さん(栄養士)

5月26日実施の管理栄養士国家試験に合格されました。